



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日  
東

上場会社名 株式会社NextOne 上場取引所  
コード番号 7094 URL <https://www.nex-tone.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 阿南 雅浩  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 史弘 (TEL) 03-5475-5029  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	14,252	63.0	581	13.4	601	17.2	425	5.4
2024年3月期第3四半期	8,744	36.4	512	△2.8	513	△3.1	404	12.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 294百万円(△21.8%) 2024年3月期第3四半期 376百万円(4.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	43.66	—
2024年3月期第3四半期	41.59	41.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	13,360	5,465	33.7
2024年3月期	13,235	5,155	30.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,501百万円 2024年3月期 4,051百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	48.9	1,000	54.1	1,000	53.0	600	13.0	61.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。それに伴い前連結会計年度の経営成績は、営業利益648百万円、経常利益653百万円となり対前期増減率を修正しております。なお、売上高、親会社株主に帰属する当期純利益に変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,940,800株	2024年3月期	9,940,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	180,563株	2024年3月期	192,610株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	9,754,542株	2024年3月期3Q	9,716,764株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

決算補足説明資料は2025年2月7日(金)にTDnetにて開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループが事業を展開する音楽関連市場は、一般社団法人日本レコード協会の調べによりますと、音楽ソフト（音楽ビデオ含む）の生産金額は前年同期比93%（2024年1月～12月）と音楽ビデオが低調だったことにより減少した一方、有料音楽配信売上金額は前年同期比105%（2024年1月～9月）と、堅調に推移しております。音楽配信売上の内訳をみると、ダウンロードは縮小傾向にあるもののサブスクリプション型や広告収入型の音楽配信サービス等のストリーミング配信市場が引き続き拡大しております。

このような状況の中、当社グループは2024年5月に公表した中期業績計画の達成に向け、著作権管理事業、デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業、音楽配信事業を中心に、公平・公正かつ透明性の高い著作権使用料の徴収・分配、著作物利用に対する迅速かつ柔軟な対応を行うとともに、海外徴収の体制強化、演奏権の取扱高増加、DX推進による業務効率化に取り組んでまいりました。併せて、2023年9月に資本業務提携を行ったレコチョクグループとの協業や、各事業間シナジーを活かしたソリューション型営業による取引拡大、楽曲・コンテンツの更なる利用促進、権利者へのきめ細やかなサービスの提供等を通じて、事業基盤となる管理楽曲や取扱原盤を着実に積み上げてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、前期におけるレコチョクグループの損益計算書の連結が第3四半期からであったため、売上高は14,252百万円（前年同期比163.0%）と大幅増収となりました。利益面では、レコチョクグループにおける成長分野や新規事業への先行投資を継続しつつも、既存事業の増収に伴う増益により、営業利益は581百万円（前年同期比113.4%）、経常利益は601百万円（前年同期比117.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は425百万円（前年同期比105.4%）と増益となりました。

なお、中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメントごとの経営成績は、本日TDnetで開示した「2025年3月期第3四半期決算説明資料」において記載しております。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて125百万円増加し、13,360百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加145百万円、固定資産の増加101百万円、現金及び預金の減少34百万円、その他流動資産の減少76百万円によるものであります。

受取手形及び売掛金の増加は、主に当第3四半期に開催した人気アーティストのライブビューイング実施によるものであります。また、固定資産の増加は、主に子会社レコチョクのオフィス移転に伴う差入保証金の増加によるものであります。

その他流動資産の減少は、主に消費税の還付に伴う未収入金の減少によるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて185百万円減少し、7,894百万円となりました。これは主に、賞与引当金の減少83百万円、退職給付に係る負債の減少31百万円によるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて310百万円増加し、5,465百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加425百万円その他、非支配株主持分の減少139百万円によるものであります。

利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,046	8,012
受取手形及び売掛金	1,600	1,745
商品	—	0
仕掛品	19	9
貯蔵品	1	1
その他	678	602
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	10,343	10,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	93	71
工具、器具及び備品（純額）	59	44
建設仮勘定	—	78
有形固定資産合計	152	194
無形固定資産		
のれん	29	17
顧客関連資産	308	256
ソフトウェア	1,638	1,607
その他	95	162
無形固定資産合計	2,072	2,044
投資その他の資産		
繰延税金資産	201	206
差入保証金	294	392
その他	171	153
投資その他の資産合計	667	753
固定資産合計	2,891	2,993
資産合計	13,235	13,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,974	3,024
未払金	3,780	3,747
未払法人税等	147	170
賞与引当金	248	165
役員賞与引当金	26	22
その他	324	218
流動負債合計	7,502	7,349
固定負債		
長期末払金	279	283
退職給付に係る負債	103	72
その他	193	189
固定負債合計	577	544
負債合計	8,080	7,894
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,218	1,218
資本剰余金	761	758
利益剰余金	2,380	2,806
自己株式	△308	△288
株主資本合計	4,052	4,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	7
その他の包括利益累計額合計	△0	7
非支配株主持分	1,103	964
純資産合計	5,155	5,465
負債純資産合計	13,235	13,360

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,744	14,252
売上原価	6,467	10,771
売上総利益	2,277	3,481
販売費及び一般管理費	1,764	2,900
営業利益	512	581
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
為替差益	0	—
保険解約返戻金	—	15
その他	0	3
営業外収益合計	1	22
営業外費用		
固定資産除却損	1	—
為替差損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	513	601
特別利益		
補助金収入	75	—
特別利益合計	75	—
特別損失		
固定資産除却損	—	34
投資有価証券評価損	—	5
特別損失合計	—	40
税金等調整前四半期純利益	588	561
法人税等	201	281
四半期純利益	387	279
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△16	△146
親会社株主に帰属する四半期純利益	404	425

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	387	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	14
その他の包括利益合計	△10	14
四半期包括利益	376	294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398	433
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	△138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	著作権 管理事業	DD事業	音楽配信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	788	5,363	1,960	8,111	633	8,744	—	8,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	68	149	—	218	311	530	△530	—
計	857	5,512	1,960	8,330	944	9,275	△530	8,744
セグメント利益又は 損失(△)	349	619	287	1,257	△28	1,228	△715	512

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャストイング事業、システム開発・保守運用事業、ソリューション事業、エージェント事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△715百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△698百万円及びセグメント間取引消去△17百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	著作権 管理事業	DD事業	音楽配信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	964	6,889	5,597	13,451	801	14,252	—	14,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	202	—	320	347	668	△668	—
計	1,082	7,092	5,597	13,771	1,149	14,920	△668	14,252
セグメント利益又は 損失(△)	476	675	972	2,124	△328	1,796	△1,215	581

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャスティング事業、システム開発・保守運用事業、ソリューション事業、エージェンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,215百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,198百万円及びセグメント間取引消去△16百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	129百万円	181百万円
のれんの償却額	12百万円	12百万円
顧客関連資産償却額	17百万円	51百万円

## (企業結合等関係)

## 企業結合に係る暫定的な処理の確定

2023年9月28日に行った株式会社レコチョコとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額262百万円は、会計処理の確定により262百万円減少し、顧客関連資産が342百万円、繰延税金負債が80百万円それぞれ増加しております。また、前連結会計年度末ののれんは236百万円減少し、顧客関連資産が308百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が72百万円それぞれ増加しております。